

ビワコオオナマズを発見！ ～高槻市のため池～

協会事理 中島敏明（高槻市）

高槻市東部の上牧地区に多数のため池が残っており、その一つに内が池という幅50m長さ340mのため池があります。大阪府の北部農と緑の総合事務所が主体になって水質改善（ヘドロの浚渫）を主目的にした整備事業が行われています。

11月から12月にかけて、ポンプアップで水を掃きだす作業が行われており、私たち「たかつき環境市民会議水G」のメンバーによる二枚貝と魚類の救出作業が3日間ほど行われました。二枚貝（ドブガイ・トンガリササノハガイ・イシガイ）を800個ほど救出し、多くの魚類（計17種、特定外来種は駆除）も救出しました。

2日目（11月24日）、1mを越すナマズがタモ網に入ってきたのです。「えっ、1mを越すナマズっているの？」と驚き、市の広報にも連絡しました。様々な川で何度かナマズを捕獲してきましたが、こんな巨大ナマズは初めて。「ちょっと待てよ、ビワコオオナマズかもしれない。」まさかと思いながら水通記念館の横山さんに電話し特徴を調べると（4点ほど）、まさかのビワコオオナマズでした。それが翌日も見つかったのです。

どんな経過で入ってきたのかわかりませんが、様々な人為的な環境の中でけな気に生きている生き物たち。二枚貝や多くの魚類が生息できる環境整備も要望していかなければ、と思っています。

「都市と自然」407号 2010年2月号より転載